

レポートにまとめる

2010年5月31日

これまでの3回の課題をもとに、ひとつのレポートとしてまとめる。

今回のような、課題文を読んで書くタイプのレポートは、概ね以下の部分から構成される。

1. 内容の簡単な要約
最初に自分の論じる「疑問」とそれに対する(一応の)「答え」を簡潔に説明する。1段落程度。
2. 導入
課題文の内容を、自分の疑問と関連するところを中心に要約(というより説明)する。そして、自分がなぜその「疑問」をもつに至ったかを説明する。
3. 議論
参考文献を援用しながら、自分の答えにたどりつくよう議論を展開していく。重要なことは、あなたの答えにたどりつく道筋を一步一步示すこと。論の進め方に飛躍がなければ、あなたの答えは一定の説得力を持つ。
4. 結論
もう一度、「疑問」と(一応の)「答え」を簡潔に説明する。また、今回調べることができなかった点について、「今後の課題」として簡単に言及する。2段落程度。
5. 参考文献リスト
参考文献リストの書き方については『国際学ブック』参照。

注意

- この構成を無視しているものはレポートとはみなさない。
- 分量はA4用紙で3枚を超え、5枚を超えないこと。
- 表紙は不要。最初のページに、科目名、教員名、学籍番号・氏名、提出年月日を記載すること。
- 印刷したものを提出する。締切は6月7日(月)の17時。
- フォーマットは私のウェブサイトからダウンロードすること。
<http://www1.meijigakuin.ac.jp/~iwamura/> (国際学部ウェブサイトの「教員紹介」にもリンクあり)
- 誤字脱字にくれぐれも注意。
- 提出されたものを、もう一度だけ書き直してもらおう予定。